



2021年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月12日

上場会社名 株式会社ライトオン 上場取引所 東
 コード番号 7445 URL https://biz.right-on.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 祐介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 大友 博雄 TEL 029-858-0321
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第1四半期の連結業績（2020年9月1日～2020年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	14,134	△6.1	390	—	410	—	49	—
2020年8月期第1四半期	15,051	△11.8	△7	—	36	—	△40	—

(注) 包括利益 2021年8月期第1四半期 32百万円 (—%) 2020年8月期第1四半期 △34百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	1.81	—
2020年8月期第1四半期	△1.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第1四半期	42,489	17,001	39.8
2020年8月期	39,718	16,972	42.5

(参考) 自己資本 2021年8月期第1四半期 16,910百万円 2020年8月期 16,877百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年8月期	—	—	—	—	—
2021年8月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	30,000	△4.1	400	175.8	300	44.5	100	—	3.63
通期	62,000	17.0	1,500	—	1,400	—	600	—	21.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期1Q	29,631,500株	2020年8月期	29,631,500株
② 期末自己株式数	2021年8月期1Q	2,051,532株	2020年8月期	2,051,470株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期1Q	27,580,005株	2020年8月期1Q	27,580,254株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの財政状態、経営成績の状況の概要は次のとおりであります。
なお、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間（2020年9月1日～2020年11月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にありました。衣料品小売業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により店舗への集客の苦戦が続いており、インバウンド需要の回復への期待も低く、厳しい状況が続いております。また新しい生活様式の浸透により、消費者の価値観・消費行動も大きく変化している状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、「持続的な黒字経営への体質転換」、「お客様起点に立った事業活動」を営業方針とし、CS活動によるサービスの向上と新商品開発に努め、顧客志向に基づいた経営基盤の強化を進めてまいりました。

商品面におきましては、お客様ニーズに沿った商品開発のため、市場調査の強化、プライスの見直し、売れ筋への早急な対応を実施し、またナショナルブランドとプライベートブランドのブランドミックスによる品揃えの最適化に努めてまいりました。

オンラインショップの売上増加に向けた対策としましては、中期経営計画においてEC化率10%の目標を掲げ、自社サイトの利便性の向上に努めるとともに、外部モールへの出店を進めるなど、より多くのお客様にお買い物をしていただけるよう環境を整えてまいりました。

店舗展開におきましては、国内に1店舗を出店し、グループ全体の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は431店舗となりました。

以上の施策の結果といたしましては、秋物の立ち上がりの9月、10月におきましてはプライスの見直しに加え、今シーズンのトレンドを取り入れたビッグシルエットやバックプリントの商品群が堅調な販売動向を見せ、回復傾向にあったものの、11月に入ると、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、3連休以降、とりわけブラックフライデーセール期間においては、大型ショッピングセンターを中心に客数が計画よりも大幅に落ち込む結果となりました。また11月は月を通して例年よりも気温が高く推移したため、防寒物の販売に苦戦したことも要因となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比6.1%減の14,134百万円となりました。

部門別売上高といたしましては、ボトムス部門4,349百万円（前年同四半期比7.1%減）、カットソー・ニット部門5,190百万円（前年同四半期比2.8%増）、シャツ・アウター部門2,337百万円（前年同四半期比18.0%減）となりました。

利益面につきましては、売上高の減少に加え、一部価格の見直しによる利益率の悪化があったものの、販売費及び一般管理費を抑制したことで、営業利益390百万円（前年同四半期は営業損失7百万円）、経常利益は410百万円（前年同四半期は経常利益36百万円）となりました。

最終損益につきましては、新型コロナウイルス感染症による雇用調整助成金収入149百万円を特別利益に計上し、次期POSシステム内製化プロジェクトを中止したことによる減損損失349百万円及び解約違約金125百万円等を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、49百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失40百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,771百万円増加し、42,489百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3,303百万円増加し、26,711百万円となりました。これは主に商品が1,634百万円、受取手形及び売掛金が1,135百万円、現金及び預金が450百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて532百万円減少し、15,778百万円となりました。これは有形固定資産が273百万円、無形固定資産が242百万円、投資その他の資産が16百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて2,742百万円増加し、25,488百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3,771百万円増加し、21,472百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1,902百万円、電子記録債務が1,808百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,029百万円減少し、4,015百万円となりました。これは主に長期借入金が900百万円減少したことによるものであります。

純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて29百万円増加し、17,001百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加があったことによるものであり、自己資本比率は39.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年10月13日の「2020年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,204	10,655
受取手形及び売掛金	1,358	2,494
商品	11,012	12,647
その他	832	915
流動資産合計	23,407	26,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,831	3,641
その他(純額)	1,332	1,249
有形固定資産合計	5,164	4,891
無形固定資産		
ソフトウェア	483	525
ソフトウェア仮勘定	485	202
その他	9	8
無形固定資産合計	978	736
投資その他の資産		
敷金及び保証金	9,163	9,155
その他	1,017	1,007
貸倒引当金	△13	△12
投資その他の資産合計	10,166	10,150
固定資産合計	16,310	15,778
資産合計	39,718	42,489
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,364	3,266
電子記録債務	4,228	6,036
短期借入金	5,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	3,020	2,700
未払法人税等	371	482
賞与引当金	427	135
ポイント引当金	136	105
店舗閉鎖損失引当金	9	—
資産除去債務	37	13
その他	3,106	3,731
流動負債合計	17,700	21,472
固定負債		
長期借入金	2,320	1,420
資産除去債務	2,553	2,426
その他	171	169
固定負債合計	5,045	4,015
負債合計	22,746	25,488

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,195	6,195
資本剰余金	6,376	6,376
利益剰余金	6,891	6,941
自己株式	△2,625	△2,625
株主資本合計	16,838	16,888
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20	△30
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	5	△2
退職給付に係る調整累計額	54	54
その他の包括利益累計額合計	38	21
新株予約権	94	91
純資産合計	16,972	17,001
負債純資産合計	39,718	42,489

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年9月1日 至 2019年11月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年9月1日 至 2020年11月30日）
売上高	15,051	14,134
売上原価	7,318	7,014
売上総利益	7,732	7,119
販売費及び一般管理費	7,740	6,729
営業利益又は営業損失（△）	△7	390
営業外収益		
受取家賃	8	8
受取手数料	7	13
為替差益	42	9
その他	9	6
営業外収益合計	68	38
営業外費用		
支払利息	10	7
賃貸費用	8	9
その他	5	1
営業外費用合計	23	17
経常利益	36	410
特別利益		
新株予約権戻入益	4	3
助成金収入	—	149
固定資産売却益	—	10
特別利益合計	4	163
特別損失		
固定資産除却損	21	1
店舗閉鎖損失	1	—
減損損失	18	349
解約違約金	—	125
特別損失合計	41	476
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△0	97
法人税等	39	47
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△40	49
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△40	49

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年9月1日 至 2019年11月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年9月1日 至 2020年11月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△40	49
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	△10
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	△29	△8
退職給付に係る調整額	3	0
その他の包括利益合計	5	△17
四半期包括利益	△34	32
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34	32
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りにおいて、前連結会計年度の有価証券報告書（追加情報）に記載しました仮定に重要な変更はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は報告セグメントが単一であることから、記載を省略しております。